

さくま誠 便り

2017年夏季号
名寄市西5南12
さくま誠 後援会
☎ 01654-3-9260
発行責任者
菅野 孝

豪雨に対応できる河川、排水路整備を求める

「経済建設常任委「除排雪」改善求め報告」

平成29年の名寄市議会第2回定例会は、6月9日～23日までの日程で開催され、議案14件、報告8件、意見書案5件を審議の上可決するとともに、委員会所管事務報告として、市民生活の大きな課題である「除排雪」について、佐久間議員の所属する経済建設常任委員会が、この一年間の調査・研究に基づき議論し改善点をまとめたものを議会に「報告」として上げ、行政に対応を求めました。

また、21日～23日の一般質問では14人が質問に立ち、佐久間議員は21日に一般質問で①市道、排水路等の整備について、②地域振興事業について、③豪雨等による防災対策に関しての3項目10点について質問し市の対応を求めました。

排水路の導水管など

水路の状態は

問 緑丘区などで豪雨時に山側からの雨水も流れ込み排水路が溢れるという状況があった。排水路の目詰まりを対応頂いたことから改善されたが、導水管、関き

よなど、水路の確保と水路の状態について伺う。

答 国道239号を横断する水路は3系統ある。市道17線に整備した雨水管が効果を上げている。豪雨前には



※ 豪雨による冠水被害を防ぐには日頃の水路の点検は欠かせない。

道路パトロールで点検している。他の2系統に未整備箇所があるが、不具合が出れば、維持補修費での対応を考えて行きたい。

遊水地は平成35年完成 豊栄川沿い住宅の安全向上

問 北海道が主体となって現在進められている17線の遊水地工事の進捗状況と、期待される効果について伺う。

答 平成28年度より本格的に着工し、現在遊水地南側の掘削、築堤・水路の造成を行い平成35年度完成の予定になっている。17線遊水地は、整備済みの下流遊水地よりも、大雨の時の河川から溢れた水をためる能力が2倍になることから、豊栄川沿い

流域の住宅地への冠水被害は大幅に低減されると考えられる。

増水河川の強靱化を

問 平成に入ってから2年に一度ほどの周期で起きている豪雨等による災害について、豊栄川では河道の拡幅、床下げ工事も行われ遊水池の整備も進んでいるところだが、特に、これまでに増水したその他の中小河川（無名川、真狩川）で講じられた被災箇所の対策工法、強化工法と、今後考えられている治水対策についてお伺いしたい。

答 真狩川は市の管理する普通河川。H23年度堆積土砂の床さらい、H24年度越流水防止の道路のかさ上げ、鋼矢版設置工事、平成28年度には管理用道路に大型土のう設置、崩れた河岸部に布団かごを設置。普通河川、未改修河川には国の補助制度がない。国や道の河川において未改修河川の改修や床さらい、立木伐採の要望を行う。

地域振興事業で

弥生公園の整備費す

問 弥生公園のトイレの整備について遠足や自然観察会などでの児童の利用もあり、現在のトイレでは、とても入って用を足せるようなものではなく、すみやかな整備が必要と思うが、市の認識と考え方を伺う。

答 園内のトイレは山の中腹にあり、水道管を敷設の上、配備すれば大規模工事となり開設期間と来場者の状況から、早急な整備・設置は難しい。問 固定式が良いと思うが、時間がかかる様であれば、仮設レンタルトイレを桜のシーズン中配備する、イベント時には配備することも含めて検討する考えはないか？
また、貯水タンクなどの活用で、手洗い程度のできる衛生的な環境は作れると思うが。
答 トイレの改修工事を行う場合には、水源の確保などの

検討が必要。また、定期的にリース用の簡易水洗トイレを配備する場合も水の補給等が課題になって来る事から、利用状況を調査し、トイレのあり方について研究して参りたい。

街路灯の設置を

問 弥生公園入口の「桜の名所看板」から公園内の駐車スペースまでの距離が長く、上り坂の途中途中に照明設備の増設が必要だ。



答 園内における防犯上、夜間の利用状況、地域における「意見からも増設については判断しなければならぬ。

近隣の防犯灯などの照度との比較・検証が必要。必要性について検証する。

問 かつて整備されていた弥生公園の遊歩道も草で埋まり、桜の木も白樺、雑木等に負けていることから、間伐も行う必要があると考える。整備についての考え方を伺う。

答 一度に多くの木の伐採は予算上厳しい。名所である桜の木を維持して行くためには必要な事。予算の範囲内で、可能なものから対応したい。

※佐久間議員が継続して取組んできた除排雪の問題について経済建設委で調査研究をし、今定例会に改善を求める「報告書」として提出されました。

除排雪サービス改善を

名寄市議会委が市に要望

【名寄】定例会市議会は20日、本会議を挙行し、経済建設委員会が市に除排雪サービスの改善を求める報告を行った。このほか、2氏が一般質問を行い、風通中央小の校舎で体育館の改築工事請負契約（総額18億1000万円）に関する議案2件、意見書案5件を原案通り可決し、閉会した。

常任委員の報告によると、市内の全ての幹線・生活道路の排雪を年一回実施する

粒々辛苦

先ごろ九州地方が豪雨に見舞われた。勢いよく降り続く豪雨には、空恐ろしさを覚える。被災された地域の皆さんに心からお見舞い申し上げたい▼名寄市も他人事ではない。平成に入って被災規模こそ違いが二年に一度は雨による災害が発生している。自然相手に「万全の備え」は無理としても、これまで以上の対策が必要だ。▼排水路の点検、未整備箇所

の改善、未改修河川の整備など、道や国への要望も含めた治水対策が求められる▼話は変わり、近頃「不用品はありませんか」「いらぬ貴金属はありませんか」との電話が頻繁にかかってきて閉口した。いくつかの会社から代わる代わる続く▼妻が「こちらの会社か」の問いに「東京です」「でも今電話しているのは群馬県です」…怪しい…TVでは複数で老年寄りの家上がり込み一人は話し続け、その間にもう一人が金品を奪う、なんて話も▼高齢化社会。タマシの手口も巧妙に。自然災害と人災、どちらも油断大敵。